

三海二山 中国・四国

デジタルの知と匠の技

107

福山産業翻訳センター

福山産業翻訳センターは、松葉満彦社長が1970年7月に設立した。30カ国語に対応可能で、機械工学や電気工学、通信、国際法務、財務など広範囲な分野の翻訳を手がける。長年培った各分野の蓄積はデータベース化され、適格に使えるようにしている。

設立当初は機械関係の取扱説明書の英訳、米国規格協会(ANSI)など輸出相手国の国家規格の和訳が多かった。20年前からは日本企業による輸出、海外拠点設立が進



松葉 社長

30カ国語に対応可能

機械から財務までカバー



長年の蓄積をデータベース化、的確な翻訳に利用

「決算関係や優先株発行のための目論見書の英訳も多い」(同)という。最近では、東南アジアの工場で働く現地スタッフ用の品質マニュアルや就業規則の現地語訳も増えている。

み、企業は「自社の知的財産防衛の意識が目覚めた」(松葉社長)。この結果、海外特許出願のための英訳業務が増え、今では主業務になっている。

海外進出と並行して金融の国際化も進み、海外投資家が日本企業の株主になった。

海外進出と並行して金融の国際化も進み、海外投資家が日本企業の株主になった。

▽所在地 広島県福山市、084・921・2888▽社長 松葉満彦氏▽事業内容 翻訳業 (木曜日に掲載)

列島ネットワーク